

カルメン(ジプシーの女、レジスタンス):ジュゼッピーナ・ピウンティ
 ドン・ホセ(混血の伍長):ロザリオ・ラ・スピナ エスカミーリョ(スペインからの闘牛士):ダニエル・スメギ ミカエラ(混血の娘):小川里美
 スニガ(現地人の将校):ジョン・ハオ モラレス(現地人の伍長):三塚 至 ダンカイロ(レジスタンスの密売人):晴 雅彦
 フラスキータ(レジスタンスの女):鷺尾麻衣 メルセデス(レジスタンスの女):鳥木弥生 レメンタード(レジスタンス):ジョン・健・ヌッツォ
 振付:中村恵恵(コンテンポラリーダンス)

指揮:井上道義

管弦楽:オーケストラ・アンサンブル金沢 コーラス:武蔵野音楽大学 児童合唱:世田谷ジュニア合唱団
 副指揮:佐藤正浩 コレペティトゥール:大藤玲子 合唱指揮:横山修司 児童合唱指揮:掛江みどり

2013年2月17日 [日] 東京芸術劇場コンサートホール
 14:00開演 (13:00ロビー開場)

2012年11月21日(水)18:30開演 石川県立音楽堂(石川) / 2012年11月24日(土)15:00開演 ハーモニーホールふくい(福井)
 2012年11月28日(水)19:00開演 新川文化ホール(ミラージュホール)(富山) / 2013年2月24日(日)14:00開演 名取市文化会館(宮城)

<p>チケット取扱い</p> <p>東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010</p> <p>チケットぴあ [Pコード:177-097] 0570-02-9999</p> <p>ローソンチケット [Lコード:37445] 0570-000-407</p> <p>イープラス http://eplus.jp/</p> <p>JTBエンタメチケット http://www.jtb.co.jp/ticket/</p> <p>東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 全席指定・10月30日(火)一般発売 芸術メンバーズ先行(10月22日(月))</p>	<p>チケット料金</p> <p>S ¥13,000</p> <p>A ¥9,000</p> <p>B ¥7,000</p> <p>C ¥5,000</p> <p>D ¥3,000</p> <p>E ¥1,500</p>	<p>東京芸術劇場 Tokyo Metropolitan Theatre</p> <p>〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 TEL:03-5391-2111 <アクセス> JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通道の2号出口で直結しています。</p>
<p>チケットの購入に当たり、下記の通りご了承ください。 出演者は現在(2012年10月)の予定です。病気や怪我などのやむを得ない理由による変更の可能性がございます。その場合のチケットの払い戻しは対応いたしかねます。チケットをお申し込みいただいた後のキャンセル、変更はできません。開演時間に遅れますと、次の幕間まで客席への入場ができません。モニターでの鑑賞となりますので、ご注意ください。会場内での写真撮影、録画は固くお断りいたします。未就学児の入場はご遠慮いただきます。</p>	<p>キッズルームのご案内</p> <p>対象:生後4ヶ月から小学校入学前のお子さま 時間:開演の1時間前から終演後30分まで ※当日、お子様の体調等についてセアリングをさせていただきます。 料金:0~1歳児:2,000円、2~6歳児:1,000円 ※当日、現金で支払い キャンセル料:前日半額、当日全額</p>	<p>公演の際は一時託児がご利用できます。</p> <p>申込方法:チケットご購入後、電話にて申し込み。 公演日の1週間前まで予約受付。 ※定員(20名)に達し次第締め切らせていただくことがあります。 受付時間:月~金 9:00~18:00(土・日・祝休み) お申込・問合せ:東京芸術劇場キッズルーム (株式会社テクノコーポレーション 東京本部) 電話:03-5413-3427</p>

主催◎石川県立音楽堂、オーケストラ・アンサンブル金沢(財団法人石川県音楽文化振興事業団)/ハーモニーホールふくい(財団法人福井県文化振興事業団)/新川文化ホール(公益財団法人富山県文化振興財団)
 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)/名取市文化会館(財団法人名取市文化振興財団)/仙台フィルハーモニー管弦楽団
 助成◎文化庁 特別協賛◎株式会社JTB法人東京

BWT JTB Business World Tokyo Corp.

感動のそばに、いつも。

特別協賛:株式会社 JTB 法人東京

当公演のチケット申込は

- | | |
|------|---|
| 対面販売 | ① 最寄りのJTB各支店 |
| 電話 | ② エンタメチケットデスク 0570-030311 (10:00~18:00) |
| Web | ③ JTBエンタメチケット 検索 ※エンタメページを開いたら公演名「カルメン」を入れて。 |

平成24年度文化庁「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」
 (共同制作公演)

5都市共同制作公演
 東京芸術劇場シアターオペラvol.6

歌劇 カルメン

G・ビゼー Alkor版 全4幕 / 字幕付原語 & 一部日本語上演字幕付

G. Bizet "Carmen" opera in 4 acts in french and Japanese / Alkor edition / with Japanese supertitles



ジュゼッピーナ・ピウンティ (カルメン) / ロザリオ・ラ・スピナ (ドン・ホセ) / 井上道義 (指揮) / ダニエル・スメギ (エスカミーリョ) / 小川里美 (ミカエラ)



ジョン・ハオ (スニガ) / 三塚 至 (モラレス) / 鷺尾麻衣 (フラスキータ) / 鳥木弥生 (メルセデス) / 晴 雅彦 (ダンカイロ) / ジョン・健・ヌッツォ (レメンタード)

管弦楽:オーケストラ・アンサンブル金沢 コーラス:武蔵野音楽大学 児童合唱:世田谷ジュニア合唱団
 Orchestra: Orchestra Ensemble Kanazawa Chorus: Musashino Academia Musicae Chorus: Setagaya Junior Chorus

2013年 2/17 [日] 14:00開演 東京芸術劇場コンサートホール
 Sun. 17. Feb. 2013. 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

2012年11/21(水)石川県立音楽堂・11/24(土)ハーモニーホールふくい・11/28(水)新川文化ホール・2013年2/24(日)名取市文化会館



東京芸術劇場
 Tokyo Metropolitan Theatre

Carmen

G・ビゼー 歌劇 カルメン

Alkor版 全4幕／字幕付原語&一部日本語上演



本公演で使用予定の衣裳スケッチ

舞台美術スケッチ



【あらすじ】

スペインの植民地だった19世紀のフィリピンの首都マニラ…この街では現地の人間もスペイン軍の傭兵として雇われていた。軍隊の伍長の一人ドン・ホセはスペイン人と現地人の混血。カルメンはいずこからかこの街に流れ着いたジプシーの女。昼はタバコ工場で働き、夜はレジスタンスに加わっていた。独立運動の機運が高まる中、見知らぬ二人は運命の糸に操られ…

本公演で使用予定の衣裳スケッチ



演出：茂山あきら

演出補：茂山童司

台本：小宮正安

テクニカルコーディネーター：關 秀哉

美術：柴田隆弘

照明：伊藤雅一

音響アドバイザー：小野隆浩

衣裳：下斗米雪子

ヘアメイク：星野安子

舞台監督：伊藤 潤

総合プロデューサー：山田正幸



「カルメンは良く解らない」 茂山あきら [演出]

なぜ、カルメンと言うオペラはこんなに良く上演されるのでしょうか？ずいぶん前の事になりますが、ニューヨークでピーター・ブルックの演出のカルメンを見た事が有ります。舞台一面にほんま物の砂を入れた壮大な舞台でした。外国語をほとんど解せないボクは、おおまかな筋立てを予習して舞台に観客として臨みました。でも、殺されるカルメン殺すホセの気持ちを十分に理解する事は出来ませんでした。何年か立って近松の心中物の死出の進行きを見ていてふと思いついた事が有ります。それぞれの個人的な事由、それぞれの民族性、それぞれの時代を理解する事が出来なければ、男女の仲を本当に理解する事は難しいのではない

でしょうか。昨日の、今日の、明日の、スペインの、アメリカの、日本の…不思議です。良く解りません。上演回数のお多さはどうもここに有りそうです。今回のカルメンは、舞台をアジアに変えての舞台です。西洋の「カルメン」東洋の「カルメン」。さて、ご覧頂くお客様にどのような思いを持っていただけますやら？

茂山あきら。1952年6月12日生まれ。二世茂山千之丞の長男。父および祖父三世茂山千作に師事。3歳のとき「以呂波」のシテで初舞台を踏む。1975年「三番三」および「釣狐」、1994年「花子」を披く。2001年より狂言と新作落語のコラボレーション<落言の会>「お米とお豆腐」を結成。その他オペラや新劇、パフォーマンスなどの企画・構成・演出なども手がけるマルチな舞台人間として活躍。また、1981年に欧米の現代劇と日本の古典芸能を融合した「NOHO(能法)劇団」をジョナ・サルズと共に主宰。ベケットの不条理演劇、英語による海外公演も数多くこなす。国境も言葉もジャンルも飛び越えたワールドワイドな演劇活動を展開。著書に「京都の畏」(KKベストセラーズ)がある。

井上道義 [指揮]

1946年東京生まれ。桐朋学園にて齋藤秀雄氏に師事。1971年グイド・カンテリリ指揮者コンクールに優勝、一躍内外の注目を集め、国際的な活動を開始。1983～1988年新日本フィル音楽監督、1990～1998年京都市響音楽監督、常任指揮者を歴任。シカゴ響、ロイヤル・フィル、ベルリン、ハンブルク等の放送交響楽団、ミュンヘン・フィル、ドレスデン・フィル、フランス国立管、スカラ・フィル、ロシア国立響、レニングラード響、ボルティモア響などに客演。1999～2000年、マラーの交響曲全曲演奏会を新日本フィルで行い「日本におけるマラー演奏の最高水準」と高く評価された。オペラでは、1984年藤原歌劇団《蝶々夫人》を指揮しデビュー。1999～2001年、Bunkamuraとエディンバラ国際フェスティバルの共同公演《トゥーランドット》、2000～03年新日本フィルとコンサート・オペラ・シリーズ、《道化師》&《カヴァレリア・ルスティカーナ》、《死の都》、《ナクソス島のアリアドネ》、新国立劇場《運命の力》、東京芸術劇場シアター・オペラ《イリス》など、常にセンセーショナルな成功を収めている。2007年には日露5つのオーケストラとともに「日露友好ショスタコヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト2007」を東京・日比谷公会堂にて開催。音楽・企画の両面で大きな成功を収めた。2007年1月よりオーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督ならびに石川県立音楽堂アーティスティック・アドバイザー。
<http://www.michiyoshi-inoue.com/>

ダニエル・スメギ [エスカミーリョ(スペインからの騎士)]

1991年のアメリカ・デビュー以来、世界の主要歌劇場、コンサートホールで活躍するバリトン歌手。1994年メトロポリタン・オペラ・ナショナル・カウンシル・オーディションのブルーノ・ワルター賞、95年ウィリアム・サリヴァン財団賞各受賞、同年マドリッドで開催されたブラント・ドミンゴ国際コンクールでも受賞を果たす。85の役柄をレパートリーに持ち、メトロポリタン・オペラ、ワシントン・オペラ、サンフランシスコ・オペラ、ロスアンジェルズ・オペラ、シアトル・オペラ、モントリオール歌劇場、シドニー歌劇場、ヴェルズ・ナショナル・オペラ、コヴェントガーデン王立歌劇場、モンペリエ歌劇場、パリ・オペラ座、ナント歌劇場、ハンブルク国立歌劇場、フランクフルト市立歌劇場等へ出演、共演する指揮者には、ヴァレリー・ゲルギエフ、サー・サイモン・トトル、ジェフリー・テイト、サー・アンドルー・デイヴィス、サー・チャールズ・マッケラス、ネロ・サンティ、セバスティアン・ヴァイグレ等がいる。得意役は、「トスカ」のスカルピア、「ラ・ボエーム」のコッリーネ、「セビリアの理髪師」のバシリオ、「魔笛」のザラストロ、「薔薇の騎士」のオックス、「第九交響曲等、宗教曲、声楽曲の分野でも高い評価を得ている。日本には、新国立劇場の「ニーベルングの指輪」に参加して絶賛を得た。

小川里美 [ミカエラ(混血の娘)]

東京音楽大学ならびに同大学院終了。在学中に留学生特別奨学金を得てザルツブルグに留学。新国立劇場オペラ研究所修了。文化庁新進芸術家海外留学制度奨学金を得てミラノに留学。これまでに国内外でのオペラや演奏会に出演、アレーナ・ディ・ヴェローナ・オーケストラ、新日本フィル、読売日本響、東京シティフィル、京響、大阪フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢、他と共演。09年ヴェローナのテアトロ・フィラルモニコにおいて「トゥーランドット」のタイトルロールでイタリアデビュー。また、2009年シャルル・ビグマリオン・テイズ アーティストとして1年間ソロコンサートを行う。11年、東京・京都で行なわれたマスカーニ「イリス」にタイトルロールで出演。同年8月にはイタリア・トッレアルラーゴにおいて上演された第57回ブッチーニ・フェスティバル「トゥーランドット」に出演した。また、2012年4月にはジェノヴァ・カルロ・フェリオー歌劇場にM・デヴィア氏のダブルキャストとしてリウー役で出演した。第19回日本声楽コンクール第三位。第44回日伊声楽コンクソ第三位。09年トゥーランドット国際コンクール優勝者。これまでに鈴木清子、高橋啓三、成田繪智子、野村陽子、M・レアール、横山修司の各氏に師事。

三塚 至 [モラレス(現地人の伍長)]

中央大学文学部卒。東京芸術大学声楽科、同大学院修了。毎年、第九、メサイア、宗教曲のソリストとして演奏。また多くのオペラにも出演。特に日本初演となった「ハムレット」(トマ作曲)、「ヴァンパイア」(マルシュオー作曲)「ジャジャ馬ならし」(H・ゲッツ作曲)ではいずれも主役を演じている。佐藤正浩氏指揮による2009年「マノン」の統編「マノンの肖像」(マサネ作曲)ではデグリウー役を好演。また2008年2月オペラ彩主催のオペラ「ナブッコ」(ヴェルディ作曲)でもタイトルロールを務め、同作品は三菱UFJ信託音楽賞奨励賞を受賞している。東洋英和女学院大学、桐朋学園芸術短期大学、捜真女学校講師。

鳥木弥生 [メルセデス(レジスタンスの女)]

ロシアの名メゾ・E.オブラストゾフに見出され東欧各地でリサイタルデビューの後、日本で岩城宏之、アンサンブル金沢との共演を経て2001年渡伊。フィレンツェ市立歌劇場公演ブッチーニ《ジャンニ・スキッキ》でオペラデビュー。その後もフランスでビゼー《ジャミレ》に主演するなど、ヨーロッパ各地で多数のオペラやコンサートに出演。国内でも、レオンカヴァッロ《ラ・ボエーム》、ヴェルディ《ファルスタフ》、ブーラング《カルメル会修道女の対話》など数々の公演に参加し、常に高い評価を受ける。昨年は新国立劇場において藤原歌劇団公演ロッシェニ《セビリアの理髪師》ロジーナ役をA.ゼツァ指揮でロールデビュー。藤原歌劇団団員。

ジョン・健・ヌツツォ [レメジナ(レジスタンス)]

南カリフォルニア・チャップマン大学にて、パトリック・ゲーサーに師事。世界三大歌劇場の一つ、ウイーン国立歌劇場でデビュー。その後、巨匠ジェームズ・レヴィアインの招待により、世界最高峰のメトロポリタン歌劇場、ミュンヘンフィルハーモニー管弦楽団演奏会に歌う。また、NHK大河ドラマ「新撰組」のテーマ曲を歌い、NHK紅白歌合戦にも2度出場するなど歌手として活躍の場を広げている。一方で、高齢者団体へのチャリティコンサートや、音楽を通じた東日本大震災への復興支援を行う等、社会活動も精力的に活動中。<http://www.jkn-tenorissimo.com/>

ジュゼッピーナ・ピウンティ [カルメン(ジプシーの女、レジスタンス)]

イタリア生まれ。4歳で声楽コンテストに出演、ルチアーノ・パヴァロッティを指導したエンマール・ラジ・ヴァレンティーニ教授のもと研鑽を積み、ヴェローナ・フィルアルモニカ劇場の「ファルスタフ」、アリーチェ役で大バリトンのレナート・ブルゾンと共演して注目を浴び、ローマ歌劇場、ミラノ・スカラ座、ボローニャのコムナーレ劇場、パレルモのマッシモ劇場、トリエステのヴェルディ劇場、ナポリのサン・カルロ劇場等イタリアを中心に、モンテカルロ国立歌劇場、モンペリエ歌劇場、ナンシー歌劇場、マルセイユ歌劇場等へ出演、ブラント・ドミンゴ、エヴァ・メイ、ファン・ディエゴ・フロレス、サルヴァトーレ・リチートラ等幾多の名歌手と共演を行う。ソプラノからメゾソプラノの広い声域を持ち、「ラ・ボエーム」のミミ、「ノルマ」のノルマ、「オテロ」のデズデモナ、「シモン・ボッカネグラ」のマリア等より「マリア・ストゥアルダ」のエリザベッタ、「カヴァレリア・ルスティカーナ」のサント・ツツァ等まで両者の主要レパートリーを歌っている。「カルメン」は、サレルノ、ラヴェンナ、メッシーナ、トゥーロン、マルセイユ等で高い人気を誇り、2012年11月、佐渡裕指揮トリノ王立歌劇場のカリスト・ビエイト演出へも出演する予定である。

ロザリオ・ラ・スピナ [ドン・ホセ(混血の伍長)]

シチリア移民の家系のもと、オーストラリアのブリスベーンに生まれる。クイーンズランド音楽院で声楽を学び、1994年エリザベス公妃記念賞を受賞、続いて、マンチェスターの王立ノーザン音楽院へ進んでジョセフ・ウォードに師事した。2000年ミラノ・スカラ座アカデミー・コンクール第1位受賞。2年間スカラ座の研修生を務め、ブラント・ドミンゴ、オルガ・ボロディナと共演してスカラ座デビューを飾る。同じ2002年、マリオ・デル・モナコ国際オペラ・コンクールで優勝を果たし、フレントゥエ劇場、パルマのレジジョ劇場、ベネチアのカルロ・フェリオー劇場等イタリアの主要歌劇場で次々とタイトルロールを歌った。現在、欧州、北米、オーストラリア等世界中のオペラハウスへ出演しており、ブルーノ・バルトレッティ、ガリー・ベルターニ、リチャード・ヒコックス、レナート・バルムホ等の指揮者たちと共演を行っている。得意役は、「椿姫」「アイダ」「蝶々夫人」「ラ・ボエーム」「カルメン」等がある。「黄金の声」、オーストラリアのパヴァロッティと渾名される美声の持ち主で、ドラマティックな役作りには定評がある。「まさにオーストラリアのパヴァロッティ。その声は、あなたのこころを融かしてしまっだろう」(ステュアート・モルダー)

ジョン・ハオ [スメギ(現地人の伍長)]

中国瀋陽出身。2001年に中国中央音楽学院卒業後、中国中央オペラハウスに入り、オペラ歌手として「アイダ」(ヴェルディ作曲)のエジプト国王、「フィガロの結婚」(モーツァルト作曲)のバルトロ、「セビリアの理髪師」(ロッシェニ作曲)のバジリオ、「魔笛」(モーツァルト作曲)のザラストロなど重要な役を演じた。2005年4月に来日、2008年3月東京芸術大学大学院音楽研究科声楽(オペラ)専攻修士課程修了。在学中、2007年10月、芸大創立120周年記念オペラ定5期公演「ラ・ボエーム」(ブッチーニ作曲)のコッリーネ役で日本におけるオペラデビューを果たし、一躍脚光を浴びた。2008年、2010年東京芸術劇場シアター・オペラ「イリス」チエーコ役、2009年、「トゥーランドット」ティムール役で出演。指揮の井上道義からは「どこに出しても恥ずかしくない本当のバスの声」と評された。2010年、「ラ・ボエーム」コッリーネ、2012年、二期会創立60周年記念オペラ公演「サブッコ」サッカーリア役に出演、新聞紙上で高く評価された。2007年、第38回イタリア声楽コンクールシエナ部門において第1位シエナ大賞受賞。2008年5月首相官邸で開催された中国胡錦濤国家主席を迎えるための晩餐会(福田首相主催)の席で日本と中国の歌を披露。趙登瀛、長谷川順氏に師事。二期会会員。

鷲尾麻衣 [ワフスキーク(レジスタンスの女)]

東京芸術大学卒業。新国立劇場オペラ研究所修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてニューヨークへ留学。第26回飯塚新人音楽コンクール第1位、第7回東京音楽コンクール第2位、06年イタリアのテアトロ・サンロッコ「偽りの女庭師」サンドリーナ役で主演。フェルトリコIVA「魔笛」(メトロポリタンオペラ・ナドラ指揮)夜の女王役を好演。08年にはカーネギーホールにてソリストとしてデビュー。帰国後は新国立劇場をはじめ数々の劇場に出演。コンサートに於いても東京フィル、新日本フィル、日本フィル等と共演し聴衆を魅了し続けている。ボーカルグループ「クリスター・レ☆」メンバー。今後の活躍が期待されているソプラノの新星。二期会会員。

晴 雅彦 [ドン・カイロ(レジスタンスの義勇兵)]

大阪音楽大学卒業。文化庁派遣芸術家在外研修員としてドイツ・ベルリンに留学。ドイツ・ケムニッツ市立劇場「魔笛」ババゲーノ役でヨーロッパデビュー後、ドイツ・ザクセン州立劇場、ドイツ・ラインスベルク音楽祭、スウェーデン・ヴァドステーナ音楽祭等に出演。国内では東京・新国立劇場をはじめ全国の主要な劇場で活躍。ロシア・レニングラード国立歌劇場管弦楽団と共演等コンサートでも活躍。ジョン・ミョンファン、ベッター・シュナイダー、ダン・エッティンガー、ウル・シルマー、アントン・レック等と共演。NHK「名曲リサイタル」「にんげんマップ」、JOEX「題名のない音楽会」等TVにも多数出演。大阪市・咲くよこの花賞、大阪文化祭奨励賞、兵庫県芸術奨励賞受賞。

中村恵恵 [鏡付・ユンテンポラリーダンス]

88年ローザンヌ国際バレエコンクール・プロフェッショナル賞受賞。91～99年ネザラランドダンスシアターに所属。02年キリアン振付「ブラックバード」の上演でニムラ舞踊賞を受賞。08年Noism07への振付け作品「Waltz」にて舞踊批評家協会新人賞受賞。10年新国立劇場にて「Shakespeare THE SONNETS」を世界初演、11年Kバレエカンパニー「黒い花」、首藤康之共演「The Well-Tempered」の振付・出演にて江口隆哉賞、芸術選奨文部大臣賞受賞。

